一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階 □計画化 □ 事業化 ☑ 事業 □ 管理

1-02-09-07

	27377 之 100 年 100 千 100	
政策名	1グローバルロジスティクスの港	l
基本施策名	02ロジスティクスハブ機能の強化	
個別施策名	09ロジスティクス機能を拡充する	
事務事業名	07西部地区(第1・2貯木場)埋立地の売却(準備)	L

責任者 建設部 管理課長

052-654-7922

連絡先

(企画調整室)企画担当

連携担当課

1 PLAN(目的·概要)

目的	第1・2貯木場埋立地を売却し、利用を図ります。	事業期間	平成20~24年度
概要	第1・2貯木場の埋立地について、用地整備完了後、適切かつ速やかな処分手続きを行います。	根拠法令 要綱等	
	そのための準備を平成24年度までに行うものです。	実施義務	□有 ☑ 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】

- ・埋立地の処分開始に向けた処分面積、時期等の条件整備を進めるための庁内調整
- ・譲渡希望企業からの第1・第2貯木場埋立地の売却に関する照会対応
- ・国際物流総合展2010における売却地のPR

成果指標 年度 19 20 21 22

	活動指標	年	度	19	20	21	22	23	最終目標	24	備考(指標の算定方法など)
四个从	四人业业		目標		_	-	1	-		-	譲渡希望企業からの問い合わせ件数
照会件数	件	実績		12	12	12					
広首 加		単位	目標		-	-	1	-		-	売却開始(24年度以降を予定)以降の譲
応募件数	件	実績		-	-	-				渡希望者からの応募件数	
			千円		0	0	0	0			
人員	E規職員		人		0.05	0.05	0.05	0.05			
ŋ	属託職員	単位	人		0.00	0.00	0.00	0.00			
	人件費相当額		十円		439	429	424	438			
事業費・	・人件費の合計		千円		439	429	424	438			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込)← →予算ベース

	/%/K101/K		12	10	20			2		, curi	1 (1日本のチルバガム・50)		
淮洪	/// **	単位	目標		10.0	20.0	30.0	40.0	(累計)100				
	準備作業進捗率 (累計)		実績		10.0	20.0	30.0			終了済み作業量÷全作業量×100			
		達成	率(%)		100.0	100.0	100.0						
±+n	売却率 単位 目標		目標		-	-	-	-	100	加八(本中)汶尔工徒,加八叉ウ工徒、			
	平 印開始以降)	%	実績		-	1	-			処方(元却) 100	処分(売却)済み面積÷処分予定面積× 00		
		達成	率(%)		-	-	-						
	観点	課題(の有無		現状の「見える化」					その他特記事項			
必	組合関与の必要性	有	- (#)										
要性	目的・水準の妥当性	有	- (#)		本組合が関与すべき事務事業です。 事務事業の意図は個別施策の成果に結びついており、対象の設定も妥当です。								
119	利用者などの 対象者ニーズ	有	- (#)		売却の最終時点で売却率が								
有効	成果の達成度	有	· 	・成甲の日本	悪た法式して	分かるため、売却が開始されていない現時点ではゼロ							
性	内容の妥当性	有	- (#)	・成果の目標を達成しています。 (まだ何も始まっていない状態)であり、未達成ではあり									
勃	実施主体の妥当性	有	· 無							ません。			

4 ACTION(取組)

経済性

受益者負担の適正性

有•無

有·無

率

性

今後の取組	且の方向性	今後の取組の方向性の判断理由					
成果 継続 44.44							
維持	維持	具体的な需要を見極めて、拙速な事業進行にならないようにするため。					
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)							
いがた理性となり取り組み	4 た行う予定です						
	成果 維持	維持維持					

・継続的にコスト削減を進めており、これ以上コストを下げる余地はありません。

・本組合が主体となって実施する必要があります。